

経済建設委員会 行政視察概要

【 千葉県 神崎町 】

- 1 日 時 令和7年11月11日（火）午後2時15分～午後3時45分
- 2 場 所 千葉県神崎町（神崎町役場）
- 3 視察事項 スマート農業の取組について
- 4 参加者 委員長 牛塚 孝浩 副委員長 宮崎 保
委員 川上 紗智子 委員 村上 恵一
委員 田中 哲

5 内 容

千葉県神崎町では、平成4年から農地の区画整理事業を開始し、大規模水田輪作体系におけるスマート農業を取り入れた作物の収量向上と、軽労化コスト削減を目指した技術体系の確立を実証されておられます。遠隔水管理システムや、スマート農機具の導入経費とランニングコスト、行政からの補助や成果、課題などについて、圃場も含め幅広く視察を行いました。

6 ま と め

大区画圃場の整備を契機に発足した営農組合を基に、集約化された農地では主に水稲・小麦・大豆を生産されておられました。導入されたスマート農業機械は、自動運転トラクターをはじめGPS連動直線キープ田植え機、遠隔水管理システムやドローン等で、生産コストと作業時間の削減に加え、収量の増加を実現されていましたが、集約・集積された広大な農地にとっては有用であるが、狭窄地や山間地での導入にはスマート化への投資は難しいと感じました。



経済建設委員会 行政視察概要

【 茨城県 稲敷市 】

- 1 日 時 令和7年11月12日（水）午後1時30分～午後3時
- 2 場 所 茨城県稲敷市（稲敷市役所）
- 3 視察事項 スマート農業の取組について
- 4 参加者 委員長 牛塚 孝浩 副委員長 宮崎 保
委員 川上 紗智子 委員 村上 恵一
委員 田中 哲

5 内 容

茨城県稲敷市では、担い手の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などから、農地の集積・集約化を実施し、スマート農業の必要性が高まった事から、茨城モデル水稲メガファーム事業において農地集約までの過程や事業に係る予算と実績、関係団体との連携・支援について視察を行いました。

6 ま と め

農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を進める際、農地貸付協力金や農地集約化奨励金（農地交換）などに対し、市独自の補助を交付していました。結果的に3年間で100ha超の集積を達成し、現在は耕作者同士が農地交換の話合いを持っているそうです。JA等の協力もあり、営農が大規模化・法人化する中で、スマート農業への補助額も毎年増加しているが、営農者にとってはメンテナンス等のランニングコストが課題だと認識できました。また、スマート化には大規模な圃場整備が基盤となる事を痛感した視察でもありました。



経済建設委員会 行政視察概要

【 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 】

1 日 時 令和7年11月13日（木）午前9時15分～午前10時45分

2 場 所 みどり戦略・スマート農業推進室

（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）

3 視察事項 スマート農業の普及に向けた取り組み

4 参加者 委員長 牛塚 孝浩 副委員長 宮崎 保
委員 川上 紗智子 委員 村上 恵一
委員 田中 哲

5 内 容

スマート農業技術導入の目的から、全国と熊本県内の実証プロジェクト実施について、中山間地で有効なスマート農業への取り組み事例、本市の概要や乾田直播稲作の可能性など幅広く講話いただきました。

6 ま と め

大型機械が入らない農地では、ドローンの活用や鳥獣害対策、ラジコン草刈り機、水管理システムなどが有効のようです。また、ドローンは共同利用も有用である事が分かりました。

